

B5頁	場-No.	役名	台詞	
10-1	10-1	Sylvia	で、バスに乗ってら、一人ブロンドの女の子がね、十五歳くらいで、おっかなくて熱烈なフエンクラ ブに囲まれて、その子でっかい声で二言目には「ゲイ」って言うの。それってゲイ、あれってゲイ、 何もかもゲイ。その歌ゲイだわー、あのドラマってゲイだわー、このサンドイッチ、ゲイだわー。だ からわたしちょびっと勇気を出して振り向いて、高圧的にならないよう言ったの、「すみません…… ……」	7/3
	10-2	Oliver	申し訳ありません。ー	7/3
	10-3	Sylvia	申し訳ありません、でもお願いします、そういう文脈で「ゲイ」って言葉を使わないでくださいます か……	7/3
	10-4	Oliver	ゲイ、イコール、ダサい。ー	7/3
	10-5	Sylvia	せめてよく考えてからにしてください、あなたにはちょっとわからないのかもしれないけど、傷つく 人が大勢いるしわたしも不愉快です。ー	7/3
	10-6	Oliver	よく刺し殺されなかったね？	7/3
10-4	10-41	Oliver	彼女が知るべきはそれで十分。それだけわかればお腹いっぱい。	7/3
	10-47	Sylvia	マリオに愛されながら思うのね……この愛から何か生まれるとしたら……この愛がそういうかたちで実 を結ぶとしたら、だったらその覚悟はできてるし、それは素晴らしいことだ、てゆーか、幸運でしょ、 贈りものだもん。神様からの。命って。何でもいいけど。ー	7/3
	10-49	Sylvia	でもそうならなくても、てゆーか、授からなくても、授からないことになったとしてもかまわない。 いまわたしたちが手にしてるもので十分、ってこと。	7/3
10-5	10-61	Oliver	手術は成功。僕の腕はあんたの腰から切除されました。ー	7/3
	10-62	Sylvia	せいせいした。ー	7/3